

## 別紙 1 年間を見通したいじめ防止指導計画について

いじめの未然防止や早期発見のために、学校全体で組織的、計画的に取り組むために、年度当初に組織体制を整えると同時に、年間の計画を立てて、学校全体でいじめの問題に取り組めます。

	項 目	時 期
いじめ防止のため の措置 主体とな った活 動	○学級活動での話し合い活動の実施	月 1 回程度
	○ボランティア活動の推進	通年
	○みんなで遊ぶ日の設定	通年
	○異学年交流の場の設定	学期に 1 回程度
	○児童集会	学期 1 回程度
	○代表委員会	年 4 回程度
いじめの早期発見の措置	○一人一人の実態に応じたわかる授業の展開	通年
	○職員相互の授業研究会の実施	通年
	○教育相談週間の設定	学期に 1 回
	○教科や道徳・学級活動等を中心とした道徳教育や情報モラル教育の時間設定	各指導計画に基づく
	○外部講師による講演会及び校内研修の実施	年 2 回程度
	○PTA総会での学校の方針説明	4 月
いじめの早期発見の措置	○学校及び学級通信等を活用したいじめ防止活動の報告	通年
	○心の教育授業公開（参観日）の実施	年 1 回
	○「いじめられている児童のサイン」の共有 ※別紙 2、3 参照	通年
	○教育相談週間の設定	学期に 1 回
	○学校独自のアンケートの実施	月 1 回
	○県のアンケートの実施	11 月頃
いじめの早期発見の措置	○「にこにこ委員会」での情報共有	月 1 回
	○進級時の情報の確実な引き継ぎ	3 月
	○過去のいじめ事例の蓄積	通年

※計画を作成するに当たっては、教職員の研修や生徒への指導、地域や保護者との連携などに留意し、総合的にいじめ対策を推進していきます。

## 別紙 2

### 1 いじめられている児童のサイン

いじめられている児童は自分から言い出せないことが多い。複数の教職員が、複数の場面で児童を観察し、小さなサインを見逃さないことを大切にする。

場 面	サ イ ン
登校時 朝の会	遅刻・欠席が増える。その理由を明確に言わない。 教職員と視線が合わず、うつむいている。 体調不良を訴える。 提出物を忘れて、期限に遅れたりする。 担任が教室に入室後、遅れて入室してくる。 等
授業中	保健室・トイレに頻繁に行くようになる。 教材等の忘れ物が目立つ。 机周りが散乱している。 決められた座席と異なる席に着いている。 教科書・ノートに汚れがある。 教職員や児童の発言などに対して、突然個人名が出される。 班編成の時、孤立しがちである。 等
昼食時間 休み時間 清掃時間等	給食・水筒にいたづらをされる。 グループを作る時などに他の子と机を少し離している。 用のない場所にいることが多い。 ふざけ合っているが表情がさえない。 衣服の汚れ等がある。 教職員の近くにいたがる。 一人で清掃している。 清掃時にいつもきつい仕事をしている。 等
放課後等	慌てて下校する。または、用もないのに学校に残っている。 一人で少年団の準備や着替えをしている。 少年団を休むことが多くなり、やめると言い出す。 必要以上のお金を持ち、友だちにおごるなどする。 等
その他	持ち物・掲示物・トイレなどに個人を中傷する落書きが書かれる。 持ち物がなくなったり、隠されたり、いたづらされたりする。 わざとらしくはしゃいでいる。 いつもみんなの行動を気にし、目立たないようにしている。 けがの状況と本人が言う理由が一致しない。 理由もなく成績が突然下がる。 友だちに悪口を言われても、言い返さなかったり、愛想笑いをしたりする。 等

## 2 いじめている児童のサイン

いじめた児童がいることに気が付いたら、積極的に児童の中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

### サイン

教室や廊下で仲間同士で集まり、ひそひそ話をしている。  
ある児童にだけ、周囲が異常に気を遣っている。  
教職員が近づくと、不自然に分散したりする。  
教職員によって態度を変える。  
自己中心的な行動が目立ち、集団の中心的な存在の児童がいる。  
グループで活動し、他の子どもに指示を出す。  
特定の子どもにのみ強い仲間意識をもつ。  
他の子どもに対して威嚇する表情をする。  
多くのストレスを抱えている。 等

## 別紙 3

### 1 教室でのサイン

教室内がいじめの場所となることが多い。教職員が教室にいる時間を増やしたり、休み時間に廊下を通る際に注意を払ったりするなど、サインを見逃さないようにする。

サイン	
会話等	嫌なあだ名が聞こえる。 席替えなどで近くの席になることを嫌がる。 何か起こると特定の生徒の名前が出る。 筆記用具等の貸し借りが多い。 等
掲示等	壁等にいたずら、落書きがある。 机や椅子、教材等が乱雑になっている。 等

### 2 家庭でのサイン

家庭でも多くのサインを出している。生徒の動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすい。以下のサインが見られたら、学校との連携が図れるよう保護者に伝えておくことが大切である。

サイン	
言動等	学校や友人のことを話さなくなる。 友人やクラスの不平・不満を口にすることが多くなる。 朝、起きてこなかったり、学校に行きたくないと言ったりする。 電話に出たがらなかったり、友人からの誘いを断ったりする。 受信したメールをこそこそ見たり、電話におびえたりする。 不審な電話やメールがある。 遊ぶ友達が急に変わる。 部屋に閉じこもったり、家から出なかったりする。
外観・様子等	理由のはっきりしない衣服の汚れがある。 理由のはっきりしない打撲や擦り傷がある。 登校時刻になると体調不良を訴える。 食欲不振・不眠を訴える。
学習等	学習時間が減る。 成績が下がる。
生活等	持ち物がなくなったり、壊されたり、落書きされたりする。 自転車がよくパンクする。 家庭の品物、金銭がなくなる。 大きな額の金銭を欲しがる。

